



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 ユシロ化学工業株式会社

コード番号 5013 URL <http://www.vushiro.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大胡 栄一

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長

(氏名) 宮澤 尚徳

TEL 03-3750-6793

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	6,055	△0.1	138	△45.2	369	△4.8	232	△13.3
25年3月期第1四半期	6,059	7.3	252	18.6	388	△0.4	267	13.7

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1,349百万円 (114.4%) 25年3月期第1四半期 629百万円 (△0.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第1四半期	16.77	—
25年3月期第1四半期	19.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第1四半期	32,449	23,930	67.9	1,590.70
25年3月期	31,234	22,816	67.6	1,523.97

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 22,037百万円 25年3月期 21,112百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	10.00	—	17.00	27.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	10.00	—	20.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	26,200	8.2	1,260	42.9	1,980	22.5	1,270	20.7	91.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	15,200,065 株	25年3月期	15,200,065 株
26年3月期1Q	1,346,291 株	25年3月期	1,346,291 株
26年3月期1Q	13,853,774 株	25年3月期1Q	13,853,928 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における世界経済は、債務問題の峠は越したものの依然低迷が続く欧州ならびに景気の回復に足踏みが見られる中国・インドに対して、米国では個人消費が持ち直し、またアセアン地域においては内需に支えられた堅調な成長の持続という、二面の様相を呈しております。また、日本経済は米国の景気回復と円安により輸出環境が改善されつつあり、個人消費の押し上げもあって回復傾向が見られます。

当社の主要顧客の属する自動車業界は、為替動向に影響されにくい体質強化を目指して、製造拠点の海外シフトを引き続き進めております。

このような状況下、売上高は、米国では自動車関連メーカーへの拡販により増収となったものの、自動車生産台数減少の影響を受けた日本での販売低迷により、前年同期比0.1%減の6,055百万円となりました。

利益面では、国内外を通して原材料の高価格状況が続き、営業利益は前年同期比45.2%減の138百万円となりました。一方、経常利益は持分法投資利益が増加したことで369百万円と前年同期比4.8%減に留まり、四半期純利益は前年同期比13.3%減の232百万円となりました。

セグメント別の業績の概況は、次のとおりであります。

[日本]

金属加工油剤事業では、国内自動車生産台数の減少及び太陽電池業界における生産減の影響により、売上高は前年同期を下回りました。また、ビルメンテナンス製品事業においては、高付加価値製品の拡販により前年同期を上回りました。

その結果、売上高は前年同期比7.6%減の3,822百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、売上高減少と円安による原材料価格高値の影響が大きく、前年同期比80.9%減の38百万円となりました。

[南北アメリカ]

米国では、好調な自動車生産を背景に既存顧客への売上を伸ばすとともに新規顧客への拡販に努め、売上高は前年同期を上回りました。ブラジルでも、政府の国内生産優遇策により自動車生産が増加して売上高は前年同期を上回りました。また、メキシコにおいては、現地生産の移行準備として、本格的に営業活動を始めました。

その結果、売上高は円安の影響もあり、前年同期比15.3%増の910百万円となりました。しかし、セグメント利益は原材料価格高値の影響が大きく、前年同期比44.6%減の36百万円と落ち込むことになりました。

[中国]

中国では、昨年9月に発生した尖閣諸島問題の影響が継続し日系自動車メーカーの販売台数が減少し、もう一方の主要顧客である鉄鋼会社も、EU諸国の金融問題による消費低迷等の影響を受け生産量が減少したことで、売上高は低迷しました。

その結果、現地通貨ベースでの売上高は減少しましたが、円建ての売上高としては円安の影響もあり前年同期比0.1%増の719百万円となりました。セグメント利益は、円安の影響もあって前年同期比39.2%増の45百万円となりました。

[東南アジア／インド]

タイ・インドネシアでは、自動車業界向けの出荷が依然好調で、売上高は前年同期を上回りました。マレーシアでは、国内向け出荷が堅調に推移したものの、フィリピン向け輸出がふるわず、売上高は前年同期を下回りました。インドでは、国内販売エリアを広げるべく積極的な販売活動に努めた結果、売上高は前年同期と比べて増加しました。

こうした状況から、売上高は前年同期比46.1%増の602百万円となりました。セグメント利益は、原材料価格が高値で推移したものの、インドネシアでの黒字化等により、20百万円の利益（前年同期は36百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、32,449百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,214百万円増加しました。主な要因は、「投資有価証券」が588百万円、「有形固定資産」が215百万円、「現金及び預金」が139百万円、「商品及び製品」が120百万円増加したことによります。

負債は、8,518百万円となり、前連結会計年度末に比べ99百万円増加しました。主な要因は、「賞与引当金」が229百万円減少したものの、流動負債の「その他」が252百万円、「支払手形及び買掛金」が143百万円増加したことによります。

純資産は、23,930百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,114百万円増加しました。主な要因は、「為替換算調整勘定」が738百万円変動したこと、「少数株主持分」が190百万円、「その他有価証券評価差額金」が189百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月14日発表の業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,027	6,166
受取手形及び売掛金	5,074	5,048
有価証券	340	340
商品及び製品	1,210	1,331
原材料及び貯蔵品	1,584	1,572
未収還付法人税等	60	10
未収消費税等	9	—
繰延税金資産	206	209
その他	198	297
貸倒引当金	△41	△39
流動資産合計	14,670	14,937
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,194	3,231
機械装置及び運搬具(純額)	930	947
工具、器具及び備品(純額)	237	228
土地	4,148	4,192
リース資産(純額)	35	31
建設仮勘定	278	409
有形固定資産合計	8,825	9,040
無形固定資産		
投資その他の資産	697	727
投資有価証券	5,849	6,437
保険積立金	495	503
長期預金	509	571
繰延税金資産	29	30
その他	173	214
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	7,041	7,742
固定資産合計	16,563	17,511
資産合計	31,234	32,449

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,320	3,464
短期借入金	1,356	1,403
リース債務	15	15
未払金	646	539
未払消費税等	—	28
未払法人税等	173	95
賞与引当金	438	208
役員賞与引当金	16	3
その他	741	994
流動負債合計	6,709	6,752
固定負債		
長期借入金	267	242
リース債務	21	18
繰延税金負債	118	195
退職給付引当金	878	876
役員退職慰労引当金	235	244
長期預り保証金	135	147
資産除去債務	13	13
その他	38	27
固定負債合計	1,709	1,765
負債合計	8,418	8,518
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,249	4,249
資本剰余金	4,058	4,058
利益剰余金	17,061	17,058
自己株式	△1,454	△1,454
株主資本合計	23,914	23,911
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	446	636
為替換算調整勘定	△3,248	△2,510
その他の包括利益累計額合計	△2,801	△1,874
少数株主持分	1,703	1,893
純資産合計	22,816	23,930
負債純資産合計	31,234	32,449

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	6,059	6,055
売上原価	4,321	4,341
売上総利益	1,737	1,714
販売費及び一般管理費	1,485	1,575
営業利益	252	138
営業外収益		
受取利息	37	23
受取配当金	21	22
持分法による投資利益	99	144
為替差益	—	45
その他	10	22
営業外収益合計	168	257
営業外費用		
支払利息	7	5
売上割引	—	8
為替差損	16	—
その他	9	13
営業外費用合計	33	26
経常利益	388	369
特別利益		
固定資産売却益	0	2
その他	0	0
特別利益合計	0	2
特別損失		
固定資産除売却損	3	9
特別損失合計	3	9
税金等調整前四半期純利益	385	362
法人税等	95	90
少数株主損益調整前四半期純利益	289	271
少数株主利益	21	39
四半期純利益	267	232

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	289	271
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△239	189
為替換算調整勘定	382	673
持分法適用会社に対する持分相当額	197	216
その他の包括利益合計	340	1,078
四半期包括利益	629	1,349
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	521	1,159
少数株主に係る四半期包括利益	108	189

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,137	789	719	412	6,059	—	6,059
セグメント間の内部 売上高又は振替高	126	16	—	—	142	△142	—
計	4,263	806	719	412	6,201	△142	6,059
セグメント利益 又は損失(△)	200	66	32	△36	262	△9	252

(注) 1 各地域セグメントに属する国

日 本 : 日本

南北アメリカ : アメリカ、ブラジル、メキシコ

中 国 : 中国

東南アジア/インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

2 セグメント利益(営業利益)の調整額△9百万円は、未実現利益の消去であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,822	910	719	602	6,055	—	6,055
セグメント間の内部 売上高又は振替高	126	7	—	0	134	△134	—
計	3,948	917	719	602	6,189	△134	6,055
セグメント利益	38	36	45	20	141	△2	138

(注) 1 各地域セグメントに属する国

日 本 : 日本

南北アメリカ : アメリカ、ブラジル、メキシコ

中 国 : 中国

東南アジア/インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

2 セグメント利益(営業利益)の調整額△2百万円は、未実現利益の消去であります。